

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区(4/7)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
北海道フード・コンプレックス 国際戦略総合特区 (北海道、札幌市、江別市、函館市、帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町、北海道経済連合会)	4.5	4.5 進捗度 ・輸出に必要な国際認証・登録等数等 180% ・企業と一次産業との連携プロジェクト数 107% ・特区が関与した食品の輸出額・輸入代替額 88% 等	4.1 規制の特例等 ・農業経営改善 自家用貨物自動車活用事業 等 財政支援等 ・総合特区設備等投資促進税制 ・総合特区支援助利子補給金 等 地域独自の取組 ・商品の競争力強化促進事業 等	4.7	<p>・ICT農業技術、ブランディング等で独自の施策にも取り込み、総合的な施策を実現して、順調に進捗していることを高く評価する。</p> <p>・岩盤規制の下で地域独自の取組を試みている点が評価できる一方、財政、税制、金融支援に関しても着実に活用している。</p> <p>・バイオガスプラントからの液肥利用促進事業については、具体的な事業展開の方策の検討が必要。</p> <p>・コロナ禍で人的交流が制約されている中、ICTを活用した品質保証、情報提供を含めた国際市場開拓を進めることを期待。</p>